

2023年度選抜・2024年度選抜「英語資格・検定試験（4技能）」の活用に関するQ&A

Q1：2024年度入学者選抜（一般選抜）では、すべての志願者が、英語資格・検定試験の結果を提出する必要があるですか？

A1：英語資格・検定試験の成績の提出は、任意です。2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）をご確認ください。

Q2：2024年度入学者選抜で活用可能な英語資格・検定試験は、何ですか？

A2：2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）の「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧」をご確認ください。なお、現時点では、2023年度入学者選抜要項を参考にしてください。

Q3：2024年度入学者選抜（一般選抜）で英語資格・検定試験を活用したいと考えていますが、文部科学省が公表している「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」を利用しますか？

A3：文部科学省が公表したものに準じて作成していますが、具体的な取り扱い等は本学が定めています。2024年度入学者選抜要項（2023年度公開予定）、及び、2024年度の学生募集要項（2023年度公開予定）の「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧とCEFR相当レベルとの対照表」をご確認ください。なお、現時点では、2023年度入学者選抜要項を参考にしてください。

Q4：2024年度入学者選抜（一般選抜）でC1以上のスコアを取得し、成績表提出した場合は、個別学力検査（英語）は免除になりますか？

A4：2024年度一般選抜学生募集要項（2023年度公開予定）等にてご確認ください。

Q5：2023年度入学者選抜要項に「実用英語技能検定（英検）については、英検CSEスコアを活用します。級の可否は活用しません」とありますが、日本英語検定協会の実用英語技能検定（英検）の場合、どの級を受験しても、CSEスコアが2,600以上の場合、C1レベルとみなされますか？

A5：「実用英語技能検定」では、それぞれの試験（級）がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲（算出範囲）が定められています。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われることになっています。本学でも、同様の取扱いをします。

つまり、それぞれの試験（級）が対象としているCEFR相当レベルの算出範囲は、次のとおりです。

英検1級： 2,304-3,299（B2、C1）

英検準1級： 1,980-2,599（B1、B2）

英検2級： 1,728-2,299（A2、B1）

英検準2級： 1,400-1,949（A1、A2）

英検3級： 1,400-1,699（A1）

（参考）英検「4技能総合CEFRの算出範囲」<https://www.eiken.or.jp/cse/>

すなわち、2024年度入学者選抜（一般選抜）でC1スコアの提出を目指す場合は、英検1級を受検してください。

2023年度入学者選抜（総合型選抜）ディスカバリー入試で「記述問題（英語）」の見なし満点（試験免除）（B2以上（2,300以上））を利用する場合は、英検1級もしくは準1級のスコアを提出してください。

同様に、ケンブリッジ英語検定についても、CEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲（算出範囲）が定められています。

CEFR相当レベルの算出範囲は、次のとおりです。

C2 Proficiency :	180-230 (C1、C2)
C1 Advanced :	160-210 (B2、C1、C2)
B2 First / B2 First for Schools :	140-190 (B1、B2、C1)
B1 Preliminary / B1 Preliminary for Schools :	120-170 (A2、B1、B2)
A2 Key / A2 Key for Schools :	100-150 (A1、A2、B1)

(参考) Cambridge English スケールと各試験のスコア比較表

<https://www.cambridgeenglish.org/jp/Images/635508-ceq-and-the-cambridge-english-scale-generalleaflet20210908.pdf>

その他の英語資格・検定試験については、「本学が指定する英語資格・検定試験（4技能）一覧と CEFR 相当レベルとの対照表」をご確認ください。

Q 6 : 2023 年度入学者選抜要項を見ていますが、実用英語技能検定（英検）1 級の場合で、一次試験合格、二次試験を受験したが不合格になった場合であっても、CSE スコアが 2,600 以上であれば、C1 レベルと判定されますか？

A 6 : 「実用英語技能検定（英検）については、英検 CSE スコアを活用します。級の合否は活用しません」としており、C1 レベルと判定されます。

Q 7 : 2023 年度入学者選抜要項を見ていますが、実用英語技能検定（英検）の場合で一次試験不合格となり 4 技能が測れていないものを、出願書類として提出した場合、受理されますか？

A 7 : 「1 次試験で不合格になった場合等 4 技能が測れていない「成績証明書」は活用しません」としており、受理されません。

Q 8 : 2023 年度入学者選抜要項において、英語資格・検定試験は、「本学を受験する年度の前年度の 4 月以降に受験したもの」とありますが、現役生では高校 2 年生の 4 月以降ということですか？

A 8 : 2024 年度入学者選抜（2023 年度実施）の場合、2022 年 4 月以降に受験したものととなります。ただし、ディスカバリー入試（総合型選抜）については、2023 年度入学者選抜（2022 年度実施）の場合 2020 年 9 月以降、2024 年度入学者選抜（2023 年度実施）の場合 2021 年 9 月以降に受験したものととなります。

Q 9 : 英語資格・検定試験の有効期間は、「本学を受験する年度の前年度の 4 月以降に受験したもの」とされています(ディスカバリー入試(総合型選抜)を除く)。実用英語技能検定(英検)で、例えば、「2022 年 4 月以降の受験が有効」とされている入学者選抜のケースで、質問します。2021 年 12 月に英検を受験した結果、1 次試験合格、2 次試験不合格となりました。2022 年 4 月 1 日以降に再度受験(1 次試験免除)した結果、2 次試験に合格しました。4 技能が測れていますので、入学者選抜の出願に活用するための出願要件を満たしていますか?

A 9 : 上記の場合、英検の「合格証明書(和文)」もしくは「英検 CSE スコア証明書」の受験日が、本学が定めている有効期間内(本学を受験する年度の前年度の 4 月以降に受験)となるので出願要件を満たしています。

本 Q&A は、必要に応じて追加します。

更新履歴

2022.08.05 公開 Q 1 ~ Q 8

2022.09.14 更新 Q 9